

OLC オアシスライフ・ケア

私たちは、2011年3月11日の東日本大震災を機に
オアシスチャペル利府キリスト教会によって設立された非営利のボランティアグループです。

目次

巻頭言

代表 松田牧人(オアシスチャペル利府キリスト教会 牧師)からの挨拶です。

ページ 1

活動報告

被災地の今…。私たちの支援活動を紹介します。

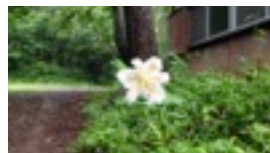
ページ 2-3



団体情報

スタッフや協力団体の紹介、また支援のお願いについて記しました。

ページ 4



巻頭言

すべての営みには時がある

オアシスライフ・ケア(以下、OLC)の母体、オアシスチャペル利府キリスト教会が運営する「森郷キャンプ場」は、1959年の設立以来、教会はもとより地域の学校、サークル、団体の活動の場として長く用いられてきました。震災によって建物に大きな被害を受け、それ以降は被災地支援のための拠点として解放してきましたが、この度、再建プロジェクトを正式にスタートいたしました。

再建の協力要請をするには、世界中の目が東北に注がれていた震災直後が好機であったかもしれませぬ。「速やかにアピールして資金集めをすべきだ」とアドバイスくださった方々も多くおられました。しかし、私たちは想像を絶するような沿岸部の惨状を目の当たりにした時、津波被災者の方々への支援を最優先することを決断せずにはられませんでした。2011年3月にはOLCを立ち上げ、キャンプ場内の建物の中で被害の軽微だった部分を開放し、ボランティ



天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。・・・くずすのに時があり、建てるのに時がある。

旧約聖書・伝道者の書より

アや物資を運ぶための拠点として大きく用いていただくことができたことは、「時」に適ったことであつたと信じます。

あれから3年半…。私たちは新しい「時」を迎えようとしています。この再建の取り組みを「オアシスセンタープロジェクト」と名付け、大地震の影響で

安全上厳しくなってしまった建物の解体と比較的被害の小さかった建物の改修に着手しました。解体した建物の跡地には、今後、「生涯学習カフェ」の建設を行おうとしています。百万都市・仙台の郊外、住宅地からもほど近い場所にある森の中のカフェとして、人々の憩い、学び、希望の光との出会いの場となることを祈りつつ、計画を進めています。感謝なことに解体と改修工事のための費用は必要が満たされています。生涯学習カフェと周辺整備のためには、約七千万円の必要があります。心に留めてお祈りください。また、このビジョンに賛同くださり、ぜひご協力ください。東北の地に命あふれるオアシスを！

オアシスライフ・ケア 代表 松田牧人

SHIZU革

11月でSHIZU革は三周年です。SHIZU革の「軌跡」は「奇跡」の連続であったと振り返ることができます。ふとしたきっかけで革細工による内職支援を思いついたこと、道に迷ったことで出会えた革問屋から協力を得られるようになったこと、革細工未経験のお母さん方が二週間ほどの練習で商品を作れるようになったこと、販売やデザインや技術指導などで協力して下さるボランティアの方々が与えられたこと、大手企業から協力の申し出があったこと、有名ファッション誌で採りあげられたこと、氷室京介氏とのコラボが実現したこと、革細工がお母さん方の生き甲斐となっていること…運営者の想定では起こりえないことばかりです。思わず、さらなる「奇跡」に期待してしまいます（笑）。

一方で、「軌跡」の原点は震災であるという事実は、SHIZU革がこれからも伝え続けていくメッセージです。現在は「志津川」の四季を色で表現したブレスレットを展開中です。志津川（被災地）をより身近に覚えていただければ幸いです。また、これまでのSHIZU革とは全く異なる新商品も計画中です。ご期待ください！今後も引き続いての「ご支援」をよろしくお願いいたします。

SHIZU革公式サイト：www.shizugawa.jp（※「軌跡と奇跡」も掲載されています。）



公式サイト内の「軌跡と奇跡」のページ

東松島市・矢本地区

先日、宮城県は、災害公営住宅の全戸完成時期を当初の予定である2015年度から2年遅らせて、2017年度にすることを明らかにしました。

私たちの関わっている東松島 矢本運動公園の仮設住宅では、今年の秋から集団移転先に移り住む方がおられます。しかしこの秋に移ることのできる方はほんの僅か（400世帯の中の40世帯程）で、更に2年先、3年先になる方々も多くおられるようです。自治会長の小野さんは、「先に移り住む人」と「後で移り住む人」を繋ぐ働きが必要だと繰り返し語っておられます。先日伺った際には、お互いの立場を受け入れ合って「後で行っからね！！」「待ってるよ！！」と励まし合えるようなコミュニティであり続けたい、そのために手を貸してほしいとご依頼いただきました。

私たちは、教会のゴスペルのチームで繰り返しコンサートを行ったり、お茶っこ会を開いたり、と関わりを続けています。小野さんに「最低でも、最後の1世帯があの仮設住宅を出るまでは働きを続けたいと思っています。」と伝えたところ「全員移ってもゴスペル歌いに来てけらいんよ！！」と勢い良く返されました。私たちは矢本の皆さんが、一日も早く新しい町にそろって、新たな歩み始める時が来ることを願っています。ゴスペルに込められた希望のメッセージを携えて、これからも関わりを続けていきます。



自治会長の小野さん



あの震災から4度目の夏。今年ついに、寄磯浜で震災後初めての養殖ホヤの水揚げがなされました！震災当時の寄磯浜を訪れた際の衝撃を忘れることはできません。いったいどこから手をついたら復興に辿り着けるのだろうか・・・、と途方に暮れるような状態でした。浜の皆さんや協力団体・海友支援隊との出会い・絆を通して、微力ですが、私たちなりに出来ることに取り組みせていただきました。その結果、ついに海産物の水揚げを目の当たりにすることができ、感無量です。

先日、養殖業復興を記念し、オアシスライフ・ケアの母体オアシスチャペル利府キリスト教会を会場に、寄磯浜のホタテ、ホヤ、海草類をふんだんに使用したお食事（なんと本格フレンチ！）を振る舞うお祝いランチを催しました。海友支援隊の方々も教会の日曜礼拝から参加してくださり、寄磯浜の恵み、新鮮な海産物たっぷりのごちそうに舌鼓を打っておられました。震災を通して神様がくださった出会いと絆、そして多くの皆様からのご支援に心から感謝いたします！



寄磯浜支援の歩み



YORIISOプロジェクトの紹介

2013年から寄磯浜と武蔵野美術大学の学生デザインチームで寄磯浜水産食品を開発するプロジェクト「YORIISOプロジェクト」が立ち上げられました。このプロジェクトでは、寄磯浜で昭和元年から水産業を営むマルキ遠藤商店が主導となり、武蔵野美大と共同で地元産の海産物を生かしたクリエイティブな水産ブランドを発信することで震災後の地域復興・産業活性化を目指しています。

YORIISOプロジェクトのWebサイトを通して、美味しい寄磯浜の海産物を購入することができます。この機会にぜひ！

YORIISOプロジェクト（<http://yoriiso.com>）



マルキ遠藤商店 社長の遠藤さんとスタッフ菊地

ご協力のお願い

皆様からのご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。私たちは今後も、復興のために、長く、効果的な働きを続けていきたいと願っています。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

支援金窓口

《ゆうちょ銀行》

- ・他金融機関より
店名：八一八（読みハチイチハチ）
口座番号：普通 4130375
口座名：オアシスライフ・ケア
- ・ゆうちょ銀行より
記号：18110 番号：41303751
口座名：オアシスライフ・ケア

※ 定期的に発行しているニュースレターをご所望の方は、お手数ですが当方までご連絡ください。

※ 過去の活動レポートは当方のウェブサイト上で閲覧いただけます。

(<http://oasislifecare.org>)

関連情報

スタッフ

松田牧人（代表・オアシスチャペル利府キリスト教会 牧師）
郡山英明（専任・会計 担当）
國分圭介（専任・SHIZU革、南三陸町 担当）
菊地祥彦（石巻市 担当）
松田 献（ゴスペル、東松島市 担当）
三浦良太（森郷キャンプ場 担当）

連絡先

事務所：宮城県宮城郡利府町中央2-5-1（利府キリスト教会内）
TEL&FAX：022-356-2494（利府キリスト教会と兼用）
※SHIZU革に関するお問い合わせは 022-356-9443 へ
E-mail：info@oasislifecare.org

Webサイト

Webページ：<http://oasislifecare.org>（日本語 Japanese）
<http://en.oasislifecare.org>（英語 English）
Facebookページ：<http://www.facebook.com/OasisLifeCARE>

賛同者

尾山清仁・キャンシー（聖書キリスト教会東京教会・牧師）
加賀洋子（ASKアカデミー・ジャパン株式会社 CEO）
葛西浩二（有限会社テレビジョンワークス・代表取締役）
Kaz Kato（ミュージシャン）
合田隆史（尚綱学院大学 学長）
郡山榮次郎（心療内科医）
後藤献児朗（有限会社サーブ介護センター 代表取締役）
篠田真宏（ゴールデンルールリミテッド・代表）
ジェイソン・エワート（作家・Australian of the Year nominee 2007）
中村佐知（翻訳者／心理学者〈Ph.D.〉／JCFN理事）
日野 哲（東北学院大学・総務部長）
広崎仁一（ヒューサーブ代表）
藤掛 明（聖学院大学総合研究所・准教授／臨床心理士）
藤原淳賀（聖学院大学総合研究所・教授／恵約宣教会・牧師）
松田和憲（関東学院大学工学部・教授／関東学院教会・牧師）
渡邊忠雄（元 東北大学大学院工学研究科・教授／中国 <瀋陽> 東北大学・客員教授）

協力団体

一般社団法人 海友支援隊 www.kinka-hoya.com
一般社団法人 CRASH Japan www.crashjapan.com
一般社団法人 サマリタンズパース www.samaritanspurse.jp
NPO法人 音楽で日本の笑顔を smile-chorus-npo.org
宗教法人 日本バプテスト同盟 www.jbu.or.jp
聖書キリスト教会東京教会 seishokirisuto.com
Bridges For Peace JAPAN www.bfpj.org
ホープみやぎ www.hopemiyagi.org

※50音順／敬称略／2014年10月22日現在